

研修・会議等報告書

平成31年1月24日

テーマ	戸田薬業連携研修会		
日時	H31年1月18日(金) 19:20~20:50	場所	戸田中央総合病院第二会議室
主催者	戸田中央総合病院 戸田市薬剤師会(共催)	費用	
講師	鈴木 千恵先生(戸田中央病院) 伊藤 剛志(戸田市薬剤師会)	出席者	戸田中央 薬剤科 20名 戸田市薬剤師会 36名 合計56名

内容
<p>スケジュール(プログラム等)</p> <p>【開会挨拶】戸田市薬剤師会 会長 染川 智行先生</p> <p>座長 スマイル薬局 芹澤 寿晴先生</p> <p>【講演1】「病院薬剤師の1日に密着」 戸田中央総合病院 薬剤科 鈴木 千恵先生</p> <p>座長 戸田中央総合病院 薬剤科 稲 秀士先生</p> <p>【講演2】「薬局薬剤師の1日に密着」 株式会社ダイチ 第一薬局 伊藤 剛志</p> <p>【閉会挨拶】戸田中央総合病院 薬剤科 石森 雅人先生</p>
<p>概要</p> <ul style="list-style-type: none">・戸田中央総合病院と薬剤師会保健薬局委員会で薬業連携会議を行っていく中で、今後の連携を強めていくためには、まず病院薬剤師と薬局薬剤師のお互いの職域を理解し、普段どのような内容の業務を行っているのかを知る必要があるのではないかという声がかつていた。そこで今回、いつものような戸田中央総合病院薬剤科からの講演を聞くのではなく、双方で講演をすることにより、顔の見える関係を築くための第一歩となるよう講演を行う運びとなった。・薬剤科鈴木先生より、病院薬剤師が日々行っている調剤業務や、D I 業務、病棟業務などの内容を詳しく教えていただき、さらに今後病院薬剤師が目指すべき姿についてお話をいただいた。・伊藤からは今後、調剤薬局に求められていること、そして通常行われている調剤の流れを、疑義照会を中心にお話しさせていただいた。
<p>所感</p> <p>今回の講演を聞いて特に感じたことは、同じ薬剤師ではあるが、職務内容が全く違うことを痛感した。病院薬剤師は安全に治療効果を上げる為、医師と相談し薬を処方する側になる。一方、薬局薬剤師は処方箋を受け、リスクを排除し、安全に安心して薬物治療が継続できるよう業務を行っている。この講演会は今後の薬業連携の第一歩とし、ディスカッション形式の研修会なども行っていければ、より連携が深まっていくだろうと感じている。「患者のために」を念頭におき、今後も病院薬剤師と交流を深めていきたい。</p> <p>なお、先方より依頼のあった「懇親会」についても検討していきたい。</p>
添付書類